



株主の皆様へ

第60期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

〔 経営理念 〕

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

〔 コーポレートステートメント 〕

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のもののづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR／コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第60期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要なども一部には見られるものの、次第に後退基調となり、長期化する円高や欧州債務危機問題に加え、世界経済の減速懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、政府の住宅取得促進策の効果や、東北エリアの復興需要を中心に新設住宅着工数は底堅く推移しているものの、所得環境や消費税動向の不透明感から、住宅需要の本格的な回復には至りませんでした。

このような状況の中、当社グループは、経営基盤の強化を進め、経営資源の効果的な活用、製品のコストダウン、新製品開発に取り組みました。また、販売活動におきましては、収納材全般の拡販、新規需要の開拓など、積極的な販売活動を展開し、売上の確保に努めました。海外では、低コストと原材料の安定供給を目的として、インドネシアで植林事業を拡大するとともに、ジャワ島東部に第2工場を建設し、生産体制を拡充しました。

当社グループといたしましては、グループ一丸となり、経営資源の効果的な活用、製品の品質向上、コストダウンに取り組むことで収益性を強化し、企業価値のさらなる向上に努めてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

ルマジャン工場を新設

PT. NANKAI INDONESIA

ルマジャン工場操業開始

当社の主力製品の一つであるアートランバー。その芯材に使われている原材料の多くは、ファルカタという早成樹種の樹木です。ファルカタは植林が容易で6～7年で直径が30cm程に成長し、材質は軽く棚板や側板等に適しており、出材の量や安定供給の観点からも有用な樹木とされています。

私共は長い間、原木・原板を購入、または中間製品を購入する形でファルカタを調達してきましたが、さらなるコスト削減と材料供給の安定性を向上させるために、ファルカタの植林事業に着手しました。

こうしてカリマンタン、2009年からは東ジャワと、植林事業を拡大してまいりましたが、その過程で、ファルカタの産地に直接生産拠点を設けることが、事業展開上、有利であると考え、ルマジャン県に工場を建設するに至りました。

ルマジャン県のインド洋を臨む南側一帯は、広大なファルカタの産地として有名な地域です。

開発用地約7haのうち、2haを工場用地として利用、5haで植林を行うこととし、植林は先行して2011年2月から開始しています。この土地は、元々はサトウキビ畑で、土地を切り開いて整地するところから始め、工場建屋を2011年8月に着工、人工乾燥室・製材棟・モルディング棟と、順に工事を進め、2012年5月に竣工し、同年7月より、製材工程から稼働を開始しました。



ルマジャン工場全景



東ジャワ州 ルマジャン県



壁にとけこむ玄関収納。広く感じる玄関は家のグレードを高めます。



★ 業界初！薄い玄関収納

※D270で靴を横向きに収納します。

★ 天井高さいっぱいまでの大容量収納

★ メラミン製鏡面扉採用で傷・日焼けに強い

- 新発見！
- 靴を横に置く厚みがスリムなD2 (D270mm) タイプで、狭い玄関の空間を有効にレイアウト。
 - 横置きは、靴のデザインがきれいに見えて選びやすい。
- 新発見！
- 大容量収納で靴の置き場所に困らない。
 - 天井までの扉を開くと収納物が一目で見渡せコーディネートしやすい。
 - 収納内部はダークグレーなので靴が映えて見える。

南海プライウッドはアルミオーダーメイドシリーズで「空間間仕切り」をフルカバーする戦略的な製品開発に取り組んでいます。

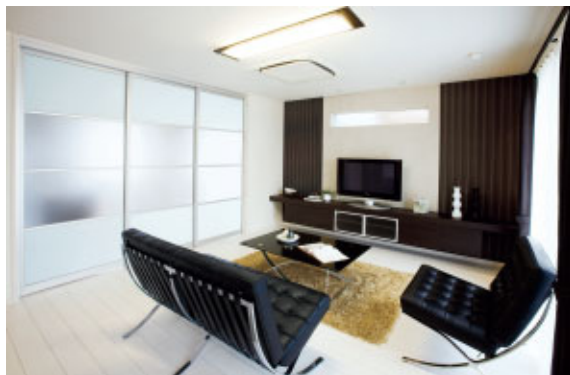


オーダーメイドスライドドア【オドア】

**様々な空間に対応可能なアルミフレーム引戸。
市場での高い支持を得ています。**

発売以来、着実な販売拡大を続けているオーダーメイドスライドドア オドア。
多様化するニーズに応えるプラン汎用性の高さに加え、高いインテリア性を誇ります。
南海プライウッドの新機軸としての確実な成長を果たしている人気の製品です。

**好評
販売中**



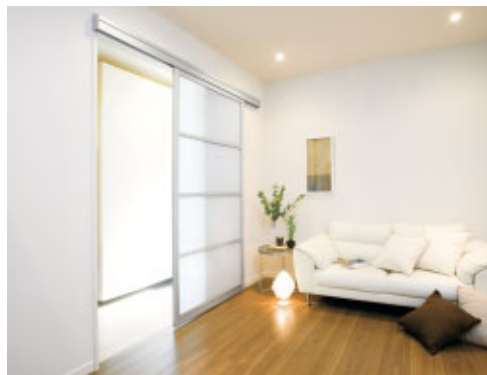
広いリビングに引込戸。3枚の扉すべてが袖壁部に納まり開放感を高めます。



L型・引込戸。リビングの一角にプライベートな空間をつくります。



キッチンバックの収納扉として活用した引込戸プラン。



開戸に比べ省スペースを実現する片引戸。個室の出入口扉として。



ORDER MADE PARTITION MAJIKIR ÖÖ

オーダーメイドパーティション
【マジキロウ】

**高い空間可変性を誇るアルミフレーム間仕切りパネル。
市場の多様なニーズにも応えます。**

【オドア】とは別発想のパーティションです。シーンや目的に合わせ空間を自由に可変できる特性を活かした、時代のニーズとこれからのライフスタイルに応えた製品仕様です。

UniMo

キッチン収納 ユニモ



好評発売中!

キッチンで使用する調理用品や食器類から
家電用品・ダストボックスまで、すべてを収納できる
UniMo(ユニモ)をリリースしました。

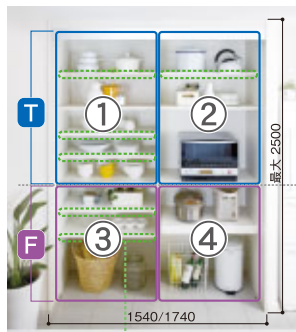
- 上下左右に分離した4つのユニットを
並べて固定・連結するだけの簡単施工。
- 造り付け収納にすると置き家具のように動かず、
地震による転倒の心配がありません。
- 人気の大型レンジが収納できます。
- 便利なオプションを追加して自由にアレンジできます。
- 引出しの最下段は2Lペットボトル収納可能です。
- 背壁に固定するので、片側や両側に壁がない場合でも施工可能。



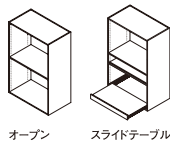
「UniMo(ユニモ)」は、収納する物や量に合わせて上下2つ(計4つ)のユニットを自由に組み合わせてできるキッチン収納で、オプションを追加することでさらに使いやすくアレンジできます。

製品リスト

T=トップユニット F=フロアユニット

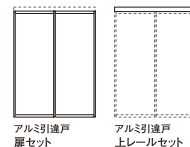


T トップユニット(W750/850×D476×H1300mm)

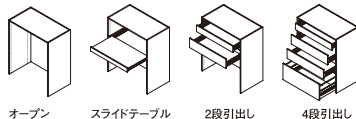
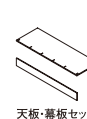
2種類
から
2つ選択

扉・納め材

高さやパネルカラーを選択。

高さは
2種類から
選択カラーは
3種類から
選択

F フロアユニット(W750/850×D476×H1000mm)

4種類
から
2つ選択

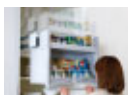
+ オプション

使い方、収納物にあわせてオプションを追加し、
わが家流にカスタマイズ。



可動棚板

F F 内に設置可能



昇降ユニット ※750ユニットのみ対応

F F 内に設置可能



バスケット

F F 内に設置可能



ダストワゴンセット

F F 内に設置可能

扉パネルカラーバリエーション

フロストグリーン



ユニモ2セットプラン使用例

フロストハーフクリア



ユニモ1セットプラン使用例

フロストホワイト



ユニモ1セットプラン使用例

当第2四半期累計期間の概況

木材関連事業では、収納材を中心とする新製品の生産販売に力を注ぎ、積極的に販売活動を展開しました。コスト面では、原材料価格の高騰を受け、製品加工の集約化・効率化・内製化等による変動費の圧縮に取り組むなど、収益の確保に努めてまいりました。

電線関連事業では、公共投資、民間設備投資ともに総じて低調に推移したことにより、企業間競争が激化し、厳しい環境で営業活動を強いられました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高62億25百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益1億26百万円（前年同期比71.9%減）、経常利益1億10百万円（前年同期比64.5%減）、四半期純利益52百万円（前年同期は四半期純損失1億95百万円）となりました。

通期の見通し

今後のわが国の経済情勢は、低迷する世界経済の煽りを受け、厳しい状況が継続するものと見込まれます。

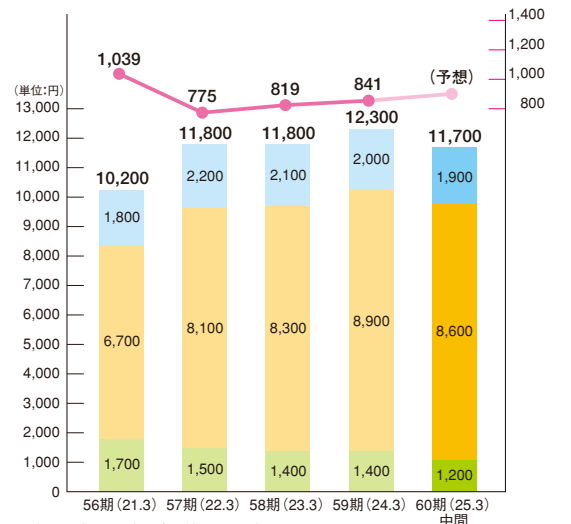
当社グループといたしましては、引き続いて経営基盤の強化に努め、グループの業績回復に全力で取り組んでまいります。

木材関連事業におきましては、引き続いて収納材のトップメーカーをめざして原材料の安定供給、生産体制の充実を図ってまいります。

電線事業におきましては、企業間競争の激化により厳しい営業展開が予想されますが、引き続いて顧客ニーズを捉えた、効果的な提案営業を推進してまいります。

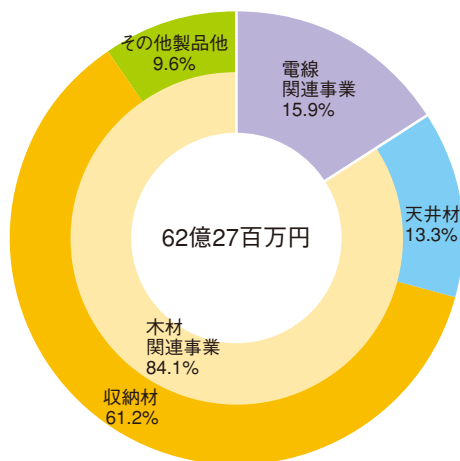
通期の連結業績は、売上高128億円、営業利益6億円、経常利益7億60百万円、当期純利益は4億50百万円になるものと予想しております。

▼新設住宅着工戸当たりの
木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)
■資産の部		
流 動 資 産	9,370	8,769
現 金 及 び 預 金	1,278	975
受取手形及び売掛金	4,642	4,506
商 品 及 び 製 品	581	677
仕 掛 品	845	832
原材料及び貯蔵品	1,685	1,532
繰 延 税 金 資 産	82	84
そ の 他	255	162
貸 倒 引 当 金	△1	△1
固 定 資 産	8,652	8,502
有形固定資産	5,725	5,711
建 物 及 び 構 築 物	1,154	1,185
機械装置及び運搬具	512	455
工 具 器 具 備 品	78	67
土 地	3,909	3,927
建 設 仮 勘 定	43	53
そ の 他	28	20
無形固定資産	543	509
投資その他の資産	2,383	2,281
投 資 有 価 証 券	621	552
投 資 不 動 産	1,205	1,190
繰 延 税 金 資 産	—	37
そ の 他	597	541
貸 倒 引 当 金	△41	△41
資産合計	18,023	17,271

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)
■負債の部		
流 動 負 債	2,109	1,523
支払手形及び買掛金	1,180	884
未 払 金	445	275
未 払 費 用	100	86
未 払 法 人 税 等	65	29
未 払 消 費 税 等	71	72
賞 与 引 当 金	211	138
そ の 他	34	37
固 定 負 債	124	132
繰 延 税 金 負 債	4	—
退 職 給 付 引 当 金	84	97
役員退職慰労引当金	10	10
そ の 他	25	24
負債合計	2,233	1,656
■純資産の部		
株 主 資 本	15,882	15,885
資 本 金	2,121	2,121
資 本 剰 余 金	1,865	1,865
利 益 剰 余 金	12,025	12,029
自 己 株 式	△129	△130
その他の包括利益累計額	△118	△269
その他有価証券評価差額金	10	△44
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	45	4
為 替 換 算 調 整 勘 定	△174	△229
少 数 株 主 持 分	25	—
純資産合計	15,789	15,615
負債純資産合計	18,023	17,271

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
売 上 高	5,889	6,225
売 上 原 価	3,784	4,309
売 上 総 利 益	2,104	1,915
販売費及び一般管理費	1,654	1,789
営 業 利 益	450	126
営 業 外 収 益	77	76
営 業 外 費 用	216	92
経 常 利 益	311	110
特 別 利 益	21	1
特 別 損 失	657	24
税金等調整前四半期純利益(△純損失)	△324	87
法 人 税 等	△131	31
少数株主損益調整前四半期純利益(△純損失)	△193	55
少 数 株 主 利 益	2	3
四半期純利益(△純損失)	△195	52

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

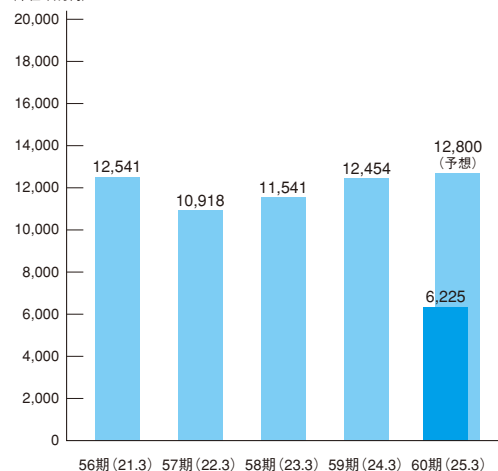
	前第2四半期 連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,069	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△318	△370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48	△49
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	7
現金及び現金同等物の増減(△)額	△1,441	△301
現金及び現金同等物の期首残高	2,644	1,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,202	975

■損益ポイント

1. 原材料価格の高騰により売上原価率が前年同期に比べ4.9ポイント悪化しております。
2. 営業外費用に為替差損45百万円計上しております。
3. 特別損失に投資有価証券評価損12百万円計上しております。

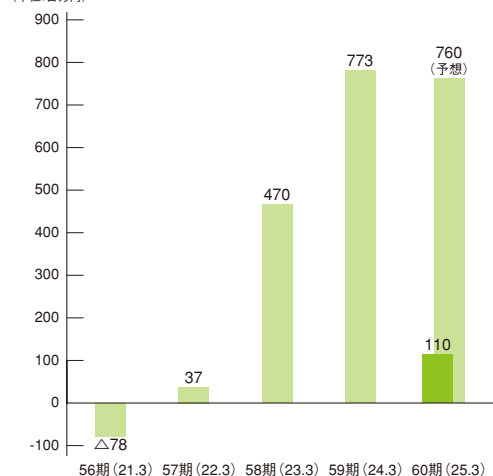
▽売上高の推移

(単位:百万円)



▽経常利益の推移

(単位:百万円)



ルマジャン工場を新設

PT. NANKAI INDONESIA

■ ルマジャン工場オープニングセレモニー

2012年10月10日、ルマジャン工場内にてオープニングセレモニーを開催しました。

セレモニーにはルマジャン県内の木材加工会社の皆様、郡役所、近隣住民の方々、従業員等総勢130名近い方々に、ご列席いただきました。

藤村PT.NANKAI INDONESIA社長の挨拶で始まり、丸山社長の挨拶、工場のあるチャンディプロ郡郡長の挨拶と続き、スンプルウル村へのファルカタの苗木の進呈式、イスラム教老師によるお祈り、最後にインドネシアの伝統である来賓への給仕を行いました。

丸山社長からは、原材料の産地に設置した、このルマジャン新工場は、我々にとって重要な事業拠点となりますが、同時にこの地域の経済発展にも一役買いたいとの趣旨の説明がありました。

チャンディプロ郡郡長パイミン氏の挨拶では、日本から「規律を守ることや礼儀正しさ」、「高い技術力」を学びたいと述べられ、特にその技術力を発揮して、地域経済や社会の活性化、発展に貢献してほしいとのことでした。

セレモニーではインドネシア音楽も流れ、来賓の方々に喜ばれ、参加者全員が楽しめる良き交流の場となりました。



Thanks Earth. Thanks People.

**ECO-RING
NOW**

ルマジャン工場新設によってつながる植林一貫生産体制。



株式の状況

(平成24年9月30日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数 10,095,800株

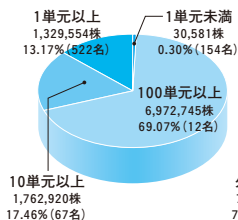
株主数 755名 (前期末比8名減)

大株主

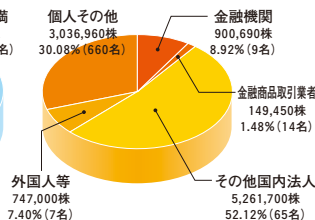
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.38%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.04
株式会社百十四銀行	467	4.82
SIX SIS LTD.	409	4.04
丸山修	392	3.12
株式会社愛媛銀行	302	2.50
クレジットスイスアージュリー	243	1.65
南海プライウッド従業員持株会	160	1.47
株式会社百十四ディーシーカード	142	1.32
小林茂	115	1.18

(注) 当社は自己株式409,800株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

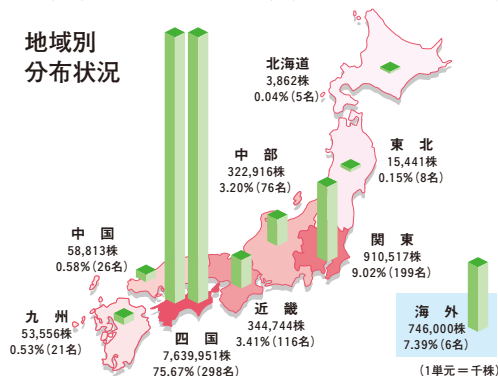
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成24年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本 社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087 (825) 3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 380名 (連結1,649名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成24年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	常勤監査役	秋山 二郎
取締役上席執行役員	小紅 正晴	監査役	大川 俊徳
取締役上席執行役員	藤村 岳志	監査役	岩部 達雄
取締役上席執行役員	正箱 孝史	監査役	村田 剛
取締役上席執行役員	丸山 宏	執行役員	小野 彰三
取締役上席執行役員	玉置 康洋	執行役員	蓮井 孝治
		執行役員	松浦 義博

連結子会社

(平成24年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT. NANKAI INDONESIA
 南海建材商貿 (上海) 有限公司

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成24年9月30日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度／4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会／毎年6月に開催いたします。
- 基準日／定時株主総会の議決権 3月31日
 - 期末配当 3月31日
 - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法／電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所／大阪証券取引所 市場第二部（証券コード 7887）
- 単元株式数／1,000株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【郵便物送付先／各種お問合せ先】
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）
〔受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）〕



南海プライウッド株式会社